



カリタス ジャパン

2015年度年次報告書

 **Caritas** Japan

ごあいさつ

カリタスジャパンの活動を支えてくださる皆様に、心から感謝申し上げます。この一年間、カリタスジャパンが皆様とともに、助けを必要としている現場に赴いた記録を、報告書としてお届けいたします。

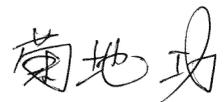
あらためて言うまでもなく、2011年3月11日以来、東日本大震災によってもたらされた各地の被害からの復興活動は、現在もカリタスジャパンの最優先課題です。被災各地における様々な活動を、特に米国カリタスとの協力の下、今後も継続して参ります。

東北以外でも災害は頻発しております。そしてそれは日本だけに限らず、世界各地で自然は猛威を振るい、多くの被害が発生しています。そこには、気候変動の結果であると指摘する声も聞かれます。環境問題は「人間は何のために生きるのか」という究極的な問いかけに答えを見いだす一つの道として、必ず取り組まなくてはならない課題だと思います。そのためにも、一つの課題だけに取り組むのではなく、人間が地球全体と共存しながら持続可能な道を選択することが出来るように、総合的な視点から、より良い世界を生み出す努力を続けていきたいと思っております。

昨年は、国際カリタスの総会が開催され、アジア出身者で初めてとなるマニラのタグレ枢機卿が総裁に選出され、私もカリタスアジア責任者の二期目に選出されました。国際カリタスの反貧困の飢餓撲滅キャンペーンには、多くの方に協力していただきました。感謝申し上げます。貧困撲滅は持続可能な発展のためにも、これからも長期にわたって避けて通ることの出来ない課題です。

助けを必要とする人々への援助とは、直接的な手助けとともに、社会全体の意識の変革も含んでいます。そのために、世界を変えるための啓発活動も不可欠だと考えております。世界の兄弟姉妹がともに生命を豊かに全うすることができるように、私たちの手をさしのべて参りましょう。

カリタスジャパン
責任司教



四旬節愛の献金 キャンペーン

教皇は毎年、四旬節に向けてメッセージを発表し、キリストを信じるすべての人が四旬節の精神をよく理解して、回心と愛のわざに励むよう呼びかけます。この呼びかけにこたえて日本のカトリック教会は、虐げられ、差別され、見捨てられ、いのちの危機にさらされている人たちとの共感を大切にするよう一人ひとりに訴えとともに、四旬節中の「愛の献金」を奨励しています。

(カトリック中央協議会 カトリック情報ハンドブック 2015)

■ 2016年四旬節教皇メッセージテーマ

「わたしが求めるのはあわれみであって、いけにえではない」(マタイ 9・13)

■ 四旬節キャンペーン小冊子 55,000部発行

教皇フランシスコの四旬節メッセージ、支援先プロジェクトの紹介などを掲載。

■ 組み立て式募金箱 23,000部発行

■ 献金袋 63,000部発行



皆様からの献金・募金は、最も支援を必要とする人々へ
皆様からの献金・募金は、貧困、災害などに苦しむ多くの人々の命を守り、
自立を助けるために使われます

2015年度献金・募金総額	¥521,738,761
四旬節献金	¥68,462,551
国内援助	¥9,166,369
海外援助	¥26,815,206
海外緊急災害	¥132,627,113
クリスマス募金	¥26,210,508
事務局運営寄付	¥1,746,119
東日本大震災	¥256,710,895
(国内からの募金	¥41,289,909)
(海外からの募金	¥215,420,986)

援助部会

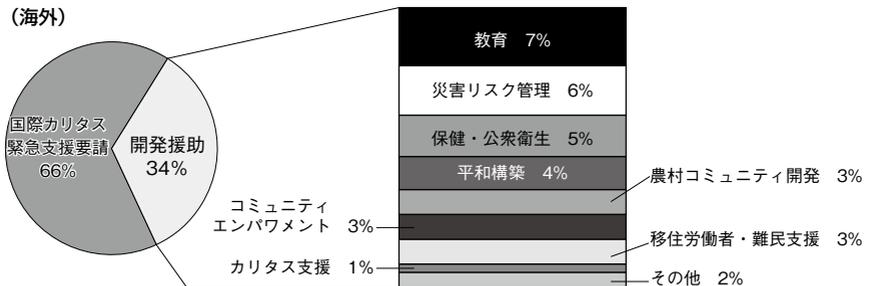
- 国際カリタスから全世界に出された、災害・紛争時における緊急支援要請 (Emergency Appeal) への対応 38件
- 各国カリタスと連携した、海外における開発プロジェクト 25件
- 国内の草の根レベルで活動する団体への支援 (災害緊急支援含む) 8件

2015年度援助総額 ￥384,091,847

地域別支援額 (単位：千円)

東日本大震災		162,421			
日本国内 (災害緊急支援含む)		21,646	9.8%		
アジア・オセアニア		139,337	62.9%		
アジア全般	794	スリランカ	6,105	フィリピン	36,973
インド	7,165	ネパール	36,879	ミャンマー	6,090
インドネシア	6,502	パキスタン	15,018	モンゴル	7,337
カンボジア	7,284	バングラデシュ	9,190		
アフリカ		34,007		15.3%	
ウガンダ	6,773	スーダン	4,949	マラウイ	1,252
エチオピア	1,323	タンザニア	3,724	南スーダン	2,419
エリトリア	1,212	チャド	2,760	モーリタニア	1,384
ギニア	1,234	ナイジェリア	1,401	ルワンダ	2,969
DR コンゴ	1,243	ニジェール	1,364		
ラテンアメリカ・カリブ		1,401		0.6%	
チリ	1,401				
中近東		11,108		5.0%	
イラク	4,849	シリア	1,370	レバノン	1,323
パレスチナ	2,356	ヨルダン	1,210		
欧州		14,172		6.4%	
ウクライナ	1,318	クロアチア	1,366	マケドニア	1,318
セルビア	1,370	ギリシャ	5,111	バチカン(国際カリタス)	3,689
総計 (東日本大震災以外)		221,671		100%	

分野別 (海外)



教育支援

少数民族や難民、孤児など社会的に弱い立場であること、また極度の貧困により、公的な教育を受けられない子どもたちがたくさんいます。カリタスジャパンは、そのような子どもたちが初等教育を受けられるよう学習環境の整備（教師養成、教科書などの提供、奨学金の付与など）や貧困層の女性や若者のための技術訓練学校を支援しています。〔バングラデシュ、モンゴル、カンボジア、ルワンダ〕

災害リスク管理

将来起こりうる災害に備え、被害低減のための、災害に負けないコミュニティ作りを支援しています。〔インドネシア、パキスタン〕

保健・公衆衛生

公的な医療サービスが行き届いていない農村地域での一次医療や、政情不安定な国での母子保健の充実を支援しています。〔カンボジア、イラク、パレスチナ〕

平和構築

宗教的対立を超え、異なる民族どうしが仲良く生きていくことができるよう平和

の推進を支援しています。〔スリランカ、パキスタン〕

農村コミュニティ開発支援

近年の気候変動の影響で、より困難な生活を強いられている農村の世帯が、コミュニティ内の組織化などを通して収入を生み出し、生活全体を向上させる包括的なプログラムを実施しています。コミュニティ活動の一環として、住民が力を合わせて行う雨水再利用の貯水槽作りは、コミュニティに強い団結を与えています。〔ウガンダ、ケニア〕

コミュニティエンパワメント(地位向上)支援

社会的地位の低い女性たちが、権利を回復し、経済的に自立していくための支援を行っています。〔インド〕

移住労働者・難民支援

家計を助けるために海外への出稼ぎ労働を強いられる貧しい人々。彼らの権利を守るための支援を行っています。また、紛争などにより難民や国内避難民となっている人々への支援も実施しています。〔スリランカ、シリア〕



雨水再利用の貯水槽が完成し、毎日の重労働だった水汲みから解放されるコミュニティ住民（ウガンダ・カバレ 2015年8月視察）

報告会／勉強会

- 横浜雙葉高等学校 2年生カリタスグループ総合学習（2015年6月）
 - 一橋大学国際政策大学院出張講義（2015年12月）
 - 正義と平和全国集会東京大会分科会（2015年9月）
- テーマ：世界の貧困問題
講師：菊地功 司教 参加者：30名

啓発部会

現実社会の中で、人権やいのちを脅かされている人々の状況、それに関わる問題や社会的課題に向き合い、研修会やセミナーの開催、小冊子の発行、メッセージの発信などを通して、課題の共有や理解の促進を行います。

■正義と平和全国集会東京大会分科会（2015年9月）

テーマ：自死と孤立—生きる支援を考える

講師：宮永 耕（秘書） 参加者：50名

■「いのち支えあう」連続セミナー（2015年11月～2016年2月）

連続6回 参加者：50名 修了者：30名

前半3回は、分かち合いを通して、社会の中で孤立化していく状況や、その課題を共有し、後半3回では、死にたいほどつらく、孤立している人への初期介入について実践的に学んだ。

以下は各回のテーマ：

- 第1回 「助けて！」と言えない
- 第2回 つながるといふこと
- 第3回 孤立から抜け出す
- 第4回 様々な考えを持つ人と関わる時
- 第5回 支える仲間へつなげるには
- 第6回 私たちにできること



■第3回韓日カトリック自殺対策シンポジウム（2015年12月）

訪韓日程：2015年12月14～16日

シンポジウム：2015年12月15日 弘益大学（ソウル、韓国） 参加者：300名

■21世紀キリスト教社会福祉実践会議第10回大会（2016年2月）

テーマ：いのち響きあう出会い

講演：向谷地育良、「べてるの家」の仲間たち 参加者：200名

第 20 回国際カリタス総会

2015年5月12日から17日、4年ごとに開催される国際カリタス総会が「One Human Family, Caring for Creation (被造物へ心を配る一つの人類家族)」をテーマに開かれ、140カ国のカリタスから代表者424名が参加した。

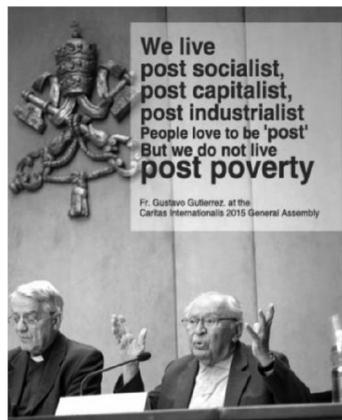
総会に先立ち、テーマに沿って三者からの基調講演が行われた。初日には、『解放の神学』の著者であるグスタボ・グティエレス神父。そして反貧困の旗手であるジェフリー・サククス教授。二日目は正義と平和評議会議長のピーター・タクソン枢機卿。

総会では国際カリタスの総裁選挙があり、次期総裁にフィリピンのルイス・アントニオ・タグレ枢機卿（アジアからは初の総裁）が選出された。また今後4年間の活動方針の枠組みと資金計画が承認された。

活動方針の枠組みは、「貧しい人の叫びに耳を傾ける」というタイトルで、教皇フランシスコの示す「貧しい人のための貧しい教会」を具体化するために、以下の五つの方向性が示された。



新総裁タグレ枢機卿（左）



グティエレス神父

国際カリタス 今後4年間（2015～2019）の方向性

1 教会の中心にあるカリタス

貧しい人のための教会の奉仕を果たし、カトリックとしてのアイデンティティを明確にする

2 生命を救い、共同体を再生する

人道上の危機の影響を低減し、災害への備えを強化する

3 持続可能な「総合的人間開発」の促進

貧困を撲滅し、不正義の社会構造を変革する

4 世界的な連帯の構築

広報、教育などを通じてカリタスの存在を明確にし、極度の貧困の原因を探る

5 カリタス連盟の効率化

各団体の専門性を高め、資源を有効に活用する



(宗) カトリック中央協議会
カリタスジャパン

135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 日本カトリック会館
Phone: 03-5632-4439 Fax: 03-5632-4464
E-mail: info@caritas.jp

<http://www.caritas.jp>

募金受付窓口

郵便振込口座：00170-5-95979 カリタスジャパン

写真

表紙：持続可能な農業支援活動地（ウガンダ・カバレ）